

宮城支部 村上支部長 様

先日は久しぶりにお会いできて本当にうれしかったです。  
再会の瞬間に村上支部長が涙を浮かべて、私も目頭が熱くなりました。  
会えてよかった…無事でよかった…元気で活躍を始めていてくれてすこし安堵  
しました。

しかし、テレビや新聞で見る映像が目の前にあることの衝撃はすごかった。  
奈良に帰還したのは9日の夕刻でしたが、帰宅してしばらくしたときNHKで  
奇しくも名取の震災当日の映像が流れていて驚きました。地震直後の津波の予  
想到達情報の時刻にはまだ心配がなく、そのあと津波が押し寄せたことを、様  
子を見に高台から降りて行った人が話していた。生々しい映像が流れて又釘付  
けになってしまいました。

どれほど恐ろしい時間を過ごされたことか。  
人間がこれほどに極限の状態に晒されることがあっていいのか。  
と、又考え込んでしまいました。

東北の空はきれいでした。清々しい風が吹いていました。帰ってきて見あげた  
空も同じまっ青な空。人間は皆同じ地球の上で同じ空を見上げていて、同じ空  
気を吸っています。

自然が時折鋭い牙をあらわにして襲いかかって、人は理性を失いただ自然の驚  
異に翻弄される。被災するひと、難を逃れる人は明暗を分けるけれど、もうそ  
れはだれにも分かり得ない運命だと思います。

だれの人生にもその命の瀬戸際はついて回っていて、いつどうなる運命かはだ  
れにも分からないのです。

この震災で強く思ったのは一つの空の下で、人は皆つながっている。つながっ  
てなくてはいけないということでした。

全ての人間が等しく経験するわけではないこと。言い尽くされた言葉ですが、  
試練に耐えうる人に苦難が襲いかかる。苦難の道を与えられたとしても乗り越  
えたとき人間はもっともっと強くなる。

亡くなった方がたくさんおられて、その事実は風化することなく語り継がれて  
ゆくと思います。この事実を忘れないで生きていきたい。

いつだって一人ではないのです。心をいつも寄せる仲間がいることを忘れない

てください。

大勢で押しかけたような形になって、かえって気を遣わせたかもしれません。  
申し訳ないです。

又行きますよ。完全復興まで長い年月がかかるでしょう。  
頑張ってください。

来月、東京で会いましょう。又語らいましょう。  
楽しみにしています。

短い時間で、  
たいしたこともできずに申し訳なかったです。皆よい経験をさせていただきました。  
ありがとうございました。

2011、10、12

奈良支部 秦 貴典

- 二日間でとった写真のCDを送ります。  
思い出に見ていただければ嬉しいです。